

14-認シス第 0213 号

2014 年 7 月 3 日

マネジメントシステム認証機関各位

公益財団法人日本適合性認定協会
認定センター

SJAC 9101E 改正に関するご案内

JIS Q 9100 航空宇宙品質マネジメントシステム認定・認証制度に関して、先般、一般社団法人日本航空宇宙工業会（SJAC）から、SJAC 9101E 改正版が発行されました。またこの規格改正への対応に関連し、国際航空宇宙品質グループ（IAQG）から IAQG OPMT ICOP レゾリューション（以下、レゾリューション）No.117 及び No.118 が発行されました。

本協会は、このレゾリューションに基づき、SJAC 9101E への対応について、下記のとおりご案内いたします。

JIS Q 9100 認証活動を行う認証機関（以下、認証機関）は、レゾリューション No.117 及び No.118 並びに下記を踏まえ、必要なご対応をお願いいたします。

記

1. 全般

1.1 主な関係文書

- a) SJAC 9101E（2014 年 3 月 31 日発行）
- b) IAQG OPMT ICOP レゾリューションログ最新版（直近では 2014 年 5 月 22 日改定）
- c) JAB MS101:2014 第 8 版（2014 年 4 月 4 日発行）

1.2 本協会の対応

SJAC 9101E 改正に伴う認定の移行は行わない。ただし、今後計画する認定審査にて、レゾリューション No.117、No.118 及び SJAC 9101E への対応状況を確認する。
なお、認定審査における SJAC 9101 適用版については、個別の認定審査計画にて明確にする。

2. 認証機関による移行

2.1 移行スケジュールの枠組み

認証機関は、遅くとも 2015 年 7 月 1 日までに、SJAC 9101E 規格を実行に移すものと

する。このスケジュールは、2.2 に記す事項を完了することを条件に、早めることができる。なお、SJAC 9101D 及び関連様式は、2015 年 7 月 1 日以降、JIS Q 9100 審査を記録するために使用しないものとする。

2.2 認証機関による実施事項

- a) 認証機関の手順及びプロセスは、航空宇宙品質センター（JAQG）により作成された SJAC 9101E 関連様式へのアクセスを含め、SJAC 9101E 要求事項に対し適合するように更新するものとする。
- b) 認証機関は、その依頼者（認証組織）に対して、JIS Q 9100 審査に SJAC 9101E を使用する際に、通知するものとする。
- c) SAJC 9101E 及び関連様式を使用する、資格承認された航空宇宙審査員及び航空宇宙産業経験審査員（以下、審査員）は、ウェブベースの IAQG OPMT 認可の「IAQG 9101E/9101:2014 オンライン更新研修モジュール」コースを完了していなければならない。また認証機関は、各々の審査員の当該研修モジュールの完了の記録を維持するものとする。
- d) 認証機関の支援要員（例えば、マネジメント、管理担当者）は、審査の支援プロセスに影響のあるいかなる変更について、認知のための内部研修を完了するものとする。
- e) 認証機関は、SJAC 9101E 及びレゾリューション No.117（関連するレゾリューション：No.118）への適合を確立していることを書面により、本協会及び航空宇宙審査登録管理委員会（JPMC）に通知するものとする。当該通知には、少なくとも次の事項を記すものとする。
 - SJAC 9101E に対応するため更新を行ったシステム文書の特定
 - 審査員、その他、機関の要員に対する教育・訓練の記録及び / 又は計画
 - SJAC 9101E 対応に関する依頼者への通知の記録及び / 又は計画

なお、書面の宛先は、次による。

公益財団法人 日本適合性認定協会 認定センター 認定業務グループ

Email : nintei@jab.or.jp

一般社団法人 日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター 航空宇宙審査登録管理委員会（JPMC）議長

Email : jaqg@sjac.or.jp

以上

参考文書：IAQG OPMT ICOP レゾリューションログ（2014 年 5 月 22 日版）参考和訳
（<http://www.sjac.or.jp/jaqg/data/jisq9100.html> より入手可能）